

令和7年度（2025年度） 大分大学一般選抜前期試験問題

出題の意図

小論文

（福祉健康科学部）

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

① 近年、人と人との関係性の希薄化が見られるなか、福祉健康科学部の理念の一つには、地域社会と一体となって、人々が支えあう地域共生社会を目指す専門職の育成がある。本学部への入学を目指す者は、将来、多様な人々と関係性を構築していく力が求められると考える。そこで、第一に援助者と被援助者との関係性の在り方について問い、対人援助職を目指す者として自身の考えについて論じられるか評価することを出題の意図とした。同時に、筆者の考えをもとに、自身の考えについて論じてもらうことで、読解力・論理的思考力・文章による表現力といった大学生としての基礎的能力について評価したい。

② 現実の社会問題に関連する統計データを読み解き、そのデータに基づいて自身の考えを医療・福祉および社会的観点から論述する能力を評価する。

選定した図は、65歳以上の高齢者の世帯構造および一人暮らしの高齢者の増加傾向を示しており、これらの図から高齢社会の進行による孤立や社会的孤立のリスクが浮き彫りなる。これらの問題に対する理解を深め、適切な論理的判断や社会的支援の在り方について考えることが求められる。

受験生には、図から得られる情報を正確に読み取る能力、得られたデータを基に現状を分析する能力、さらにその分析を踏まえた上で、医療・福祉および社会的観点から自分の考えを論理的に表現する力が問われている。特に、地域社会の役割や医療・福祉サービスの在り方、さらには高齢者の尊厳ある生活を支える方策についての深い思考が期待される。

本問題を通じて、受験生の思考力、判断力、表現力を総合的に評価することを目的としている。

③ 今回の問題では自殺に関する2つのデータを総合し、状況と課題を分析し対策を考えてもらう。アドミッションポリシーに掲げられた「地域包括ケア」の

リーダーを目指す受験生に対して、本問題を通して、論理的な思考力を伴った「確かな学力」や、福祉的な視点を備えているか、という点を評価する。